

原 著

新潟県厚生連における薬科大学5年次臨床実務実習の受入状況  
— 卒後就職状況及び就職に関する意識の文献的考察 —

村上総合病院、薬剤部；薬剤師<sup>1)</sup>、中条病院、薬剤部；薬剤師<sup>2)</sup>、水原郷病院、薬剤部；薬剤師<sup>3)</sup>、  
新潟医療センター、薬剤部；薬剤師<sup>4)</sup>

山下 正秀<sup>1)</sup>、籠島 正浩<sup>2)</sup>、井島 ゆか<sup>3)</sup>、石川 貢<sup>4)</sup>

目的：病院薬剤部に優秀な薬剤師を採用することは、薬剤部運営に必要不可欠である。このことから、新潟県厚生連に実務実習した薬学生の受入状況と、その後の就職先を調査した。また、薬学生の就職に対する意識に関して文献を基に分析した。

方法：新潟県厚生連に実務実習した薬学生の人数、出身大学を調査し、2年後の就職状況に関する追跡調査をした。また、薬学生の就職状況については、薬学教育協議会の調査と各薬科大学からの文献資料により集計分析した。

結果：新潟県厚生連における実務実習受入状況は2年間で76人、うち新潟薬科大学が70人と全体の92.1%を占めていた。平成24年卒全国平均の就職先は、保険薬局およびドラッグストアは46.7%、病院・診療所は29.8%であった。就職先第一選択の意識調査で薬学生は「勤務地」26.6%、「給料がよい」25.7%、「社風雰囲気が良い」18.6%の順であり、一般大学生は「やりたい仕事ができるから」22.25%、「働きがいがあるから」11.1%、「安定している、企業規模が大きい」が9.7%の順で薬学生とは異なっていた。「給与」と「勤務地」では相関性が認められなかった。

結論：新潟県厚生連における実務実習受入状況は新潟薬科大学が全体の92.1%を占めていた。文献的調査において薬学生の就職状況は、保険薬局、ドラッグストアの就職率が5割以上と多く、病院、診療所は3割程度である。また、実務実習病院と就職先病院はほとんど無関係であった。薬学生の平均就職選択項目は「給与」、「勤務地」の順であった。「勤務地」は「休日数」、「勤務時間」、「薬剤師数」、「転勤有無」において負の相関が認められ、「給与」と「勤務地」には相関性が認められなかった。保険薬局、病院就職希望者の就職選択項目が、「給与」「勤務地」で分かれていると推測される。

キーワード：5年次薬学臨床実務実習、薬科大学生の就職状況、薬科大学生の就職意識、病院薬剤師、相関分析

結 言

平成18年4月から薬学教育6年制が開始された。また、平成22年度から薬学5年次に病院および保険薬局での11週間の臨床実務実習（以下、実務実習）が教育カリキュラムとして義務化された。このことから、病院薬剤部の医療現場に接する11週間の実務実習は、薬科大学生（以下、薬学生）にとって貴重な体験になり、病院薬剤師の職能を理解し興味を持つ接点になると期待を抱くところである。また、病院薬剤部に優秀な薬剤師を採用することは、薬剤部運営に必要不可欠である。これらを背景に新潟県厚生農業協同組合連合会（以下、新潟県厚生連）薬剤部に実務実習した5年次薬学生の受入状況と2年後の就職状況に関する追跡および文献的調査を行った。また、薬学生と一般大学生の就職に対する意識調査を文献より分析した。

対 象 と 方 法

平成22、23年度新潟県厚生連に実務実習した薬学生の人数、出身大学を調査した。実務実習した薬学生の2年後の就職状況に関する追跡調査及び新潟県内の新卒病院就職状況調査は、新潟県病院薬剤師会会員名簿(7、8)および臨床実務実習報告書(9、10)より調査した。また、薬学生の就職状況については、薬学教育協議会の調査(1)、新潟薬科大学の調査(2)、東北薬科大学の調査(3)、明治薬科大学の調査(4)、星薬科大学の調査(5)、東京薬科大学の調査(6)より集計分析した。また、実務実習前後の就職に対する意識調査(11、12)および薬学生(2)と一般大学生(13)の就職に対する意識調査も分析した。

結 果

① 新潟県厚生連実務実習受入状況  
平成22年度および23年度の2年間の実務実習受入状況をまとめた(表2)。総人数は76人、うち新潟薬科大学が70人と全体の92.1%を占めていた。他、昭和薬科大学、城西大学薬学部、帝京平成大学薬学部、同志社女子大薬学部、日本大学薬学部、日本薬科大学薬学部が各1人であった。

②-1. 薬学生の就職状況

調査した資料(1~6)を(表1)にまとめた。平成24年卒全国平均を見ると、保険薬局およびドラッグストアは46.7%で首都圏の薬科大学とほぼ同様であった。また、地方薬科大学は60%以上と多数となった。病院・診療所は全国平均29.8%、調査した薬科大学は20%~30%とほぼ同様であった。一方、企業への就職は全国平均12.9%、首都圏の薬科大学が20%以上と多く、地方薬科大学は10%以下と少なかった。

②-2. 新潟県内病院就職状況と新潟薬科大学病院就職状況(表3)

県内病院就職の地域別では、新潟市が48.6%、長岡市、県央地区が10.8%であり、都市部傾向が見えた。また、県内病院では、規模別での就職者数には偏りが無いと思われる。新潟薬科大学卒の県内病院就職率は、新潟薬科就職者数の16.3%であり、新潟薬科病院就職者数の55.8%であった。また、県内新卒病院就職者数の64.9%であった。

③-1. 薬学生および一般大学生の就職先選択の意識調査

新潟薬科大学2、3、4年次生の「就職先を決定する際に重視している項目について」(2)、および平成25年新卒大学生就職意識調査の企業選択のポイント(13)から類似選択項目を統括した(表4)。薬学生は第一に重視する項目、一般大学生は選択項目2つの平均%数値を表示した。

一般大学生は「やりたい仕事ができるから」22.25%、「働きがいがあるから」11.1%、「安定している、企業規模が大きい」が9.7%の順であった。一方、薬学生では「勤務地」26.6%、「給料がよい」25.7%、「社風雰囲気が良い」18.6%の順で、一般大学生とは異なっていた。

③-2. 新潟薬科大学「就職先を決定する際に重視している項目について」の相関性

新潟薬科大学2、3、4年次生の「就職先を決定する際に重視している項目について」(表5)(2)から相関係数および無相関検定を行った。新潟薬科大学生の就職先を決定する重視項目の優先順位別を外し、個別データとして見た場合、「給与」が平均23.23%標準偏差6.26%で第1位、「勤務地」が平均17.73%、標準偏差7.23%で第2位であった。各項目の相関性を見た場合、「給与」に関しては有意な項目はなかった。「勤務地」を軸とした場合、「休日数」、「勤務時間」、「薬剤師数」、「転勤有無」に負の相関が認められた。また、「勤務時間」と「薬剤師数」、「休日数」で正の相関が認められた。更に、無相関の検定を行った結果、相関係数と同様の相関を再確認できた。特に、「勤務地」と「勤務時間」は有意水準0.5%で負の相関が認められた。「勤務時間」と「薬剤師数」、「休日数」は、5%で正の相関が認められた。また、「勤務地」と「休日数」、「薬剤師数」、「転勤有無」は、5%で負相関が認められた。また、「勤務地」と「給与」では有意水準5%で相関は無かった。

考 察

新潟県厚生連病院への実務自習者は76人、うち県内

病院就職者は17人22.4%であった。また、県内病院への実務実習者と就職動向を調査した結果、実習病院と就職先病院はほとんど無関係であった。6年制薬学生の就職状況は保険薬局、ドラッグストアの就職率が5割以上と多く、病院、診療所は3割程度であると理解すべきである。一方、薬学教育6年生制度において、実務実習の薬剤師養成に果たす社会的役割は、大きいと考えられる。また、受入れ側の病院への経営的事業と捉える側面もありえる。

1つのデータ(11、12)として、新潟薬科大学臨床実務実習アンケート(表8)がある。病院での実務実習前後で病院就職希望が増加し、他の職場では変化がないことが示唆される。このことから、薬学生が病院薬剤師を選択する要因として、病院実務実習の影響は大きいと判断される。

新潟薬科大学は新潟県に唯一の薬科大学であり、県内への就職率は大きく、影響性も大である。しかしながら、病院就職率は3割程度、県内外合わせて年間40人程度であり、このスケールも理解すべきである。しかし、薬学生の病院就職希望については、新潟薬科大学各学年共に40%以上と高い割合である(2)。東京薬科大学6年制教育一期生を対象とした調査では、病院希望が男性では47.4%、女性では59.7%であった(13)。薬学生の病院就職希望は潜在的に多いと判断される。

就職先への意識では、一般大学生の「自分でやりたい仕事ができる」「働きがいがある」などの項目がなかったため、一概に判断はできないが、ほとんどの薬学生の就職先が、保険薬局、病院と職種先が限定されていることに要因があると思われる。また、薬学生の就職選択項目「勤務地」は、「給与」より平均値が少ないが、「勤務地」を軸とした負の相関が若干見られ、有意水準5%で認められた。また、「給与」と「勤務地」では相関性が認められなかった。保険薬局、病院就職希望者の就職選択項目が、「給与」「勤務地」で分かれていると推測される。

文 献

1. 一般社団法人薬学教育協議会. 平成24年3月薬系大学卒業生・大学院修了者就職動向調査の集計報告 平成24年11月. 2012; 7-9.
2. 新潟薬科大学. 就職状況について平成25年10月新潟薬科大学薬学部就職委員会. 2013; 1-11.
3. 東北薬科大学. 東北薬科大学平成24年度進路状況. [引用アクセス2013年10月23日] 入手: URL: <http://www.tohoku-pharm.ac.jp/new/pdf/h24sinro.pdf>
4. 明治薬科大学. 明治薬科大学学部進路就職分布平成25年3月卒. [引用アクセス2013年10月23日] 入手: URL: [http://www.my-pharm.ac.jp/shushoku/data/uni\\_distribution.html](http://www.my-pharm.ac.jp/shushoku/data/uni_distribution.html)
5. 星薬科大学. 星薬科大学進路・就職実績平成25年3月卒 [引用アクセス2013年10月23日] 入手: URL: <http://www.hoshi.ac.jp/home/shinro/jissekki.html>
6. 東京薬科大学. 東京薬科大学薬学部進路状況平成25年3月卒 [引用アクセス2013年10月23日] 入手: URL: [http://www.toyaku.ac.jp/recruiting/recruiting03\\_02\\_13a\\_j.html](http://www.toyaku.ac.jp/recruiting/recruiting03_02_13a_j.html)
7. 新潟県病院薬剤師会. 新潟県病院薬剤師会会員名

- 簿平成24年6月1日現在. 2012; 15-62.
8. 新潟県病院薬剤師会. 新潟県病院薬剤師会会員名簿平成25年6月1日現在. 2013; 15-62.
  9. 朝倉俊成, 他. 新潟薬科大学薬学部臨床実務教育委員会. 平成22年度臨床実務実習報告書. 2011; 9-159.
  10. 朝倉俊成, 他. 新潟薬科大学薬学部臨床実務教育委員会. 平成23年度臨床実務実習報告書. 2012; 11-237.
  11. 朝倉俊成, 他. 平成23年度新潟薬科大学臨床実務実習アンケート結果. 新潟薬科大学薬学部臨床実務実習教育委員会. 平成23年度臨床実務実習報告書. 2012; 267-75.
  12. 朝倉俊成, 他. 平成24年度新潟薬科大学臨床実務実習アンケート結果. 新潟薬科大学薬学部臨床実務実習教育委員会. 平成24年度臨床実務実習報告書. 2013; 209-15.
  13. 株式会社マイナビ. 2013年卒マイナビ大学生就職意識調査企業選択のポイント: [引用アクセス2013年10月10日] 入手: URL: [http://saponet.mynavi.jp/enq\\_gakusei/ishiki/data/syuusyokuisiki\\_2013.pdf](http://saponet.mynavi.jp/enq_gakusei/ishiki/data/syuusyokuisiki_2013.pdf)
  14. 瀬沼香代子, 畝崎榮, 竹内裕紀, 林正弘. 東京薬科大学における六年制教育一期入学生を対象とした調査. 薬学雑誌2007; 127: 1153-7.

#### 英文抄録

##### Original article

Our acceptance situation in the pharmaceutical training of 5th grade students and their employment attitude survey in the literature

Murakami General Hospital<sup>1</sup>), Nakajo Hospital<sup>2</sup>), Suibara-go Hospital<sup>3</sup>), Niigata Medical Center<sup>4</sup>), pharmacy; pharmacist  
Masahide Yamashita<sup>1</sup>), Masahiro Kagoshima<sup>2</sup>), Yuka Ijima<sup>3</sup>), Mitugu Ishikawa<sup>4</sup>)

Objective: It is essential for the pharmacy administration to understand an attitude of the entering pharma-

cists in our hospitals. Therefore, we investigated the acceptance situation of the pharmacy student and analyzed their choice criteria of employment in the literature.

**Study design:** We investigated the number of the 5th grade students which received practical training in our hospitals for two years. Also, we reviewed the employment situation of the pharmacy students with statistical analysis.

**Results:** As to the training acceptance situation 76 students were accepted, and Niigata University of Pharmacy and Applied Life Sciences accounted for 70 students, 92.1% in frequency.

Regarding the workplace in Japan in 2012, the health insurance pharmacy or the drugstore was 46.7%, and the hospital or the medical office pharmacy was 29.8% in frequency.

The choice criteria of employment were “work location” in 26.6%, “a salary” in 25.7%, and “good communication” in 18.6% in frequency.

On the other hand, the criteria for selection of the general university student and its frequency were followings; “desirable work” of 22.25%, “worthwhile works” of 11.1%, and “stable big company” of 9.7%.

Correlation was not found in “a salary” and “the work location”.

**Conclusion:** As for the training acceptance Niigata University of Pharmacy and Applied Life Sciences accounted for 92.1%.

Regarding the employment situation the insurance pharmacy and the drugstore occupied more than 50% and the hospital pharmacy or the medical office one were 30% in frequency.

The choice criteria of employment were “a salary” and “work location”.

There was no relationship between “a salary” and “work location”.

**Key words:** extramural pharmaceutical training in 5th grade, employment, attitude survey, hospital pharmacist, correlation analysis

表1 薬科大学生就職状況

職種	平成24年卒				平成25年卒									
	全国 1)		新潟薬2)		新潟薬2)		東北薬3)		明治薬4)		星薬5)		東京薬6)	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
保険薬局	3,308	39.0%					133	47.5%			78	33.8%	86	23.3%
ドラッグストア等	654	7.7%					37	13.2%			35	15.2%	74	20.1%
計	3,962	46.7%	86	62.3%	106	67.9%	170	60.7%	126	45.8%	113	48.9%	160	43.4%
病院・診療所	2,522	29.8%	44	31.9%	42	26.9%	76	27.1%	79	28.7%	48	20.8%	80	21.7%
行政・公務員	270	3.2%	1	0.7%	3	1.9%	7	2.5%	9	3.3%	18	7.8%	10	2.7%
企業	1,096	12.9%	3	2.2%	2	1.3%	21	7.5%	58	21.1%	47	20.3%	107	29.0%
進学・教育機関	52	0.6%	4	2.9%	3	1.9%	6	2.1%	3	1.1%	5	2.2%	12	3.3%
総数	8,476		138		156		280		275		231		369	

- 1) 薬学教育協議会. 平成24年3月薬系大学卒業生・大学院修了者就職動向調査の集計報告平成24年11月. 2012; 7-9
- 2) 新潟薬科大学. 新潟薬科大学薬学部就職委員会・就職状況について平成25年10月. 2013; 1-11
- 3) 東北薬科大学. 東北薬科大学平成24年度進路状況 : <http://www.tohoku-pharm.ac.jp/new/pdf/h24sinro.pdf>
- 4) 明治薬科大学. 明治薬科大学薬学部進路就職分布平成25年3月卒 : [http://www.my-pharm.ac.jp/shushoku/data/uni\\_distribution.html](http://www.my-pharm.ac.jp/shushoku/data/uni_distribution.html)
- 5) 星薬科大学. 星薬科大学進路・就職実績平成25年3月卒 : <http://www.hoshi.ac.jp/home/shinro/jisseki.html>
- 6) 東京薬科大学. 東京薬科大学薬学部進路状況平成25年3月卒 : [http://www.toyaku.ac.jp/recruiting/recruiting03\\_02\\_13a\\_j.html](http://www.toyaku.ac.jp/recruiting/recruiting03_02_13a_j.html)

表2 新潟厚生連実務実習受入状況 (平成22年度、23年度の合計)

病院名	第I期(5~7月)		第II期(9~11月)		第III期(1~3月)		計
	人数	大学名	人数	大学名	人数	大学名	
糸魚川総合病院	2	新潟薬			1	新潟薬	3
上越総合病院	2	新潟薬	1	新潟薬	3	新潟薬	7
柏崎総合医療センター	1	新潟薬	2	新潟薬	1	日本薬	5
	1	昭和薬				新潟薬	
魚沼病院	2	新潟薬	1	帝京平成			3
長岡中央総合病院	4	新潟薬	4	新潟薬	3	新潟薬	13
	1	日本大	1	城西大			
三条総合病院	2	新潟薬	3	新潟薬	2	新潟薬	7
新潟医療センター	3	新潟薬	5	新潟薬	3	新潟薬	11
豊栄病院	1	新潟薬					1
水原郷病院	4	新潟薬	1	新潟薬	1	新潟薬	7
			1	同志社女			
村上総合病院			3	新潟薬	1	新潟薬	4
佐渡総合病院	6	新潟薬	7	新潟薬	2	新潟薬	15
計	29		29		18		76

大学名: 城西大 : 城西大学薬学部 昭和薬 : 昭和薬科大学  
 新潟薬 : 新潟薬科大学 日本薬 : 日本薬科大学薬学部  
 日本大 : 日本大学薬学部 同志社女 : 同志社女子大学薬学部  
 帝京平成 : 帝京平成大学薬学部

表3 新潟県内病院薬剤師就職状況と新潟薬科大学病院就職状況

	平成24年卒	%	平成25年卒	%	計	%
県内病院就職者数(A)	36		38		74	
地区別県内病院就職者数:率						
新潟市	18	50.0%	18	47.4%	36	48.6%
長岡市	3	8.3%	5	13.2%	8	10.8%
県央地区						
三条市・燕市	4	11.1%	4	10.5%	8	10.8%
上越市	1	2.8%	2	5.3%	3	4.1%
その他	1	2.8%	2	5.3%	3	4.1%
国立			4	10.5%	4	5.4%
厚生連	9	25.0%	3	7.9%	12	16.2%
規模別県内病院就職者数:率						
199床以下	5	13.9%	7	18.4%	12	16.2%
(国立および厚生連を除く)						
200床~449床	14	38.9%	15	39.5%	29	39.2%
450床~	8	22.2%	9	23.7%	17	23.0%
新潟薬科大学病院就職状況2)						
全就職者数:新潟薬科卒(B)	138		156		294	
病院就職者数(C) : (C/B)%	44	31.9%	42	26.9%	86	29.3%
県内病院就職者数(D) : (D/B)%	20	14.5%	28	17.9%	48	16.3%
: (D/C)%		45.5%		66.7%		55.8%
県内病院就職者占有率 : (D/A)%		55.6%		73.7%		64.9%

表4 薬学生および一般大学生の就職先選択ポイント

No	選択項目	新潟薬科大学第一選択項目(%) 2)				全国平均% 13)
		2年次	3年次	4年次	平均%	
1	自分のやりたい仕事ができるから				0.0	22.3
2	働きがいがあるから				0.0	11.1
3	自分の能力を生かせるから				0.0	5.0
4	安定しているから、企業規模が大きい	3.0	2.8	2.0	2.6	9.7
5	一生続けられるから				0.0	4.9
6	福利厚生がよいから	7.1	14.8	4.0	8.6	4.9
7	給料が良いから	38.1	19.0	20.1	25.7	3.7
8	転勤の有無、少ない	2.4	4.2	0.0	2.2	2.6
9	勤務地	22.0	28.9	28.9	26.6	
10	休日、休暇日数、多い	5.4	7.0	8.1	6.8	2.2
11	勤務時間	10.1	3.5	9.4	7.7	
12	社内研修制度の充実	0.0	1.4	2.0	1.1	2.0
13	社風、雰囲気が良い	11.9	18.3	25.5	18.6	8.4
14	有名企業					1.2
	合計%	100.0	99.9	100.0	100.0	77.8

2) 新潟薬科大学・新潟薬科大学薬学部就職委員会・就職状況について平成25年10月、2013:1-11

13)株式会社マイナビ、2013年卒マイナビ大学生就職意識調査企業選択のポイント: [https://saponet.mynavi.jp/enq\\_gakusei/isshiki/data/syuuuyokuisiki\\_2013.pdf](https://saponet.mynavi.jp/enq_gakusei/isshiki/data/syuuuyokuisiki_2013.pdf)

表5 就職先を決定する、2、3、4年次、第1、2、3重視項目%表示 (新潟薬科大学就職委員会(2))

	給与	休日数	勤務時間	福利厚生	薬剤師数	勤務地	企業規模	転勤有無	雰囲気	社内研修
2年1次希望	38.1	5.4	10.1	7.1	0.0	22.0	3.0	2.4	11.9	0.0
3年1次希望	19.0	7.0	3.5	14.8	0.0	28.9	2.8	4.2	18.3	1.4
4年1次希望	20.1	8.1	9.4	4.0	0.0	28.9	2.0	0.0	25.5	2.0
2年2次希望	21.2	17.1	20.0	5.9	1.8	17.1	5.9	4.1	7.1	0.0
3年2次希望	26.8	13.4	14.8	9.9	2.8	12.7	1.3	4.2	9.9	2.8
4年2次希望	24.8	19.5	13.4	9.4	0.0	14.8	1.3	6.7	10.1	0.0
2年3次希望	22.0	19.6	14.9	6.5	1.8	13.1	6.5	5.4	10.1	0.0
3年3次希望	18.3	12.0	16.2	6.3	4.2	12.7	2.1	7.8	18.3	2.1
4年3次希望	18.8	16.8	22.1	4.7	2.7	9.4	3.4	10.1	11.4	0.7
平均値	23.23	13.21	13.82	7.62	1.48	17.73	3.14	4.99	13.62	1.00
標準偏差	6.26	5.43	5.64	3.31	1.57	7.23	1.88	2.97	5.85	1.10

表6 就職先を決定する重視項目の相関性 (相関係数)

	給与	休日数	勤務時間	福利厚生	薬剤師数	勤務地	企業規模	転勤有無	雰囲気	社内研修
給与	1									
休日数	-0.32749	1								
勤務時間	-0.20271	0.698458	1							
福利厚生	0.051073	-0.2304	-0.6277	1						
薬剤師数	-0.36464	0.347815	0.681478	-0.29382	1					
勤務地	0.075665	-0.74881	-0.83994	0.30322	-0.7425	1				
企業規模	-0.13058	0.386106	0.334816	-0.27323	0.090888	-0.15374	1			
転勤有無	-0.36843	0.583572	0.61316	-0.03271	0.605303	-0.7831	0.043708	1		
雰囲気	-0.33107	-0.63245	-0.56007	-0.05026	-0.20275	0.65593	-0.41866	-0.3982	1	
社内研修	-0.28412	-0.38532	-0.1966	0.149422	0.380798	0.117288	-0.60094	-0.14544	0.546075	1

表7 就職先を決定する重視項目の無相関の検定 N=9 N-2 5% 0.5%  
7 2.36462256 4.029352567

	給与	休日数	勤務時間	福利厚生	薬剤師数	勤務地	企業規模	転勤有無	雰囲気	社内研修
給与	1									
休日数	-0.91704	1								
勤務時間	-0.54769	2.582186	1							
福利厚生	0.135304	-0.62644	-2.13336	1						
薬剤師数	-1.03607	0.981515	2.463686	-0.81327	1					
勤務地	0.200766	-2.98913	-4.09503	0.84188	-2.9327	1				
企業規模	-0.34848	1.107416	0.9401	-0.7515	0.241466	-0.41164	1			
転勤有無	-1.04853	1.90132	2.05361	-0.08659	2.011921	-3.33153	0.115751	1		
雰囲気	-0.92828	-2.16019	-1.78868	-0.13315	-0.54782	2.299121	-1.21972	-1.14854	1	
社内研修	-0.78404	-1.10478	-0.53051	0.399821	1.089588	0.312471	-1.9892	-0.38893	1.724623	1

表8 新潟薬科大学臨床実務実習アンケート 11) 12)

あなたが希望する職場や職種は何ですか(複数回答可)

	平成23年実習(25年卒)			平成24年実習(26年卒)		
	実習前	実習後	%	実習前	実習後	%
病院	95	113	27.2%	89	103	29.2%
保健薬局	158	154	37.0%	144	142	40.2%
ドラッグストア	3	10	2.4%	8	12	3.4%
MR	3	3	0.7%	3	5	1.4%
その他	14	10	2.4%	10	11	3.1%
まだ考えていない	137	126	30.3%	124	80	22.7%
不明	0	1	0.2%			
計	410	416		378	353	

- 11)朝倉俊成, 他. 平成23年度新潟薬科大学臨床実務実習アンケート結果. 新潟薬科大学薬学部臨床実務実習教育委員会. 平成23年度臨床実務実習報告書. 2012; 267-75  
 12)朝倉俊成, 他. 平成24年度新潟薬科大学臨床実務実習アンケート結果. 新潟薬科大学薬学部臨床実務実習教育委員会. 平成24年度臨床実務実習報告書. 2013; 209-15

(2013/11/26受付)